

施策	5202 生涯学習機会の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズや社会の要請を的確に捉えた様々なテーマの学級・講座の開催による学習機会の充実。</li> <li>・市民一人ひとりが多様な個性・能力を活かした新たな価値を創造できる生涯学習社会の構築。</li> </ul>							
成果指標	市民大学事業出席者数...5年間で1,650人(現状値1,402人) 生涯学習人材バンク登録者の活動件数...5年間で130件(現状値105件) 学級・講座等の受講者数...5年間で35,000人(現状値33,394人) 人権教育指導者養成講座受講者数...5年間で320人(現状値309人)							
目 標 達 成 状 況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [人]	予定	1,450.00	1,500.00	1,550.00	1,600.00	1,650.00	
		実績	1,581.00	940.00	501.00			
	成果指標2 [件]	予定	110.00	115.00	120.00	125.00	130.00	
		実績	100.00	71.00	47.00			
		単位コスト	86,980.67	122,625.37	185,134.96			
	成果指標3 [人]	予定	33,710.00	34,030.00	34,350.00	34,670.00	35,000.00	
		実績	32,522.00	29,337.00	4,879.00			
		単位コスト	267.45	296.77	1,783.43			
	成果指標4 [人]	予定	311.00	313.00	315.00	317.00	320.00	
実績		216.00	230.00	292.00				
	単位コスト	40,268.83	37,853.92	29,799.12				
トータルコスト (千円)	予定	8,702,131	8,706,401	8,701,343	0	0		
	実績	8,698,067	8,706,401	8,701,343	0	0		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「各種学級・講座受講者満足度」を向上させるためには、学級・講座等受講者数の増加が必要であるため、本単位施策の目標値達成による貢献度は高い。						
	達成状況	市民大学、人材バンク、学級・講座受講者数は、新型コロナによる中止のため約60%から約85%の減となった。その中でも人権指導者養成講座は約7%の減に留まった。						
	課題	新型コロナ感染症対策を継続し、安全で安心な講座の開催に努めること。また、多様化する市民ニーズへの講座内容の対応や学びの成果を活かすための機会が必要である。						
	取組方針	利用者アンケート等から市民ニーズの把握に努め、講座の見直し等を行うことで幅広い受講者の増加を図る。市民にわかり易い情報提供に工夫して計画的な広報周知を行う。						
外 部 評 価								
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	538601	青少年健全育成団体支援事業費				4,350	100	
	560101	私学振興費補助金				2,750	100	
	567001	家庭教育学級開設事業費				3,476	100	
	569101	図書館振興基金積立金				2,773	100	
	732701	人権教育推進事業費				3,070	100	
	560501	栃木市生涯学習人材バンク事業費				750	75	
	717401	青少年育成支援事業費				5,040	65	
	561701	栃木市民大学事業費				6,940	60	
	563206	岩舟公民館講座等開設事業費				6,594	60	
563901	科学する心を育む推進事業費				6,385	60		



## 単位施策評価表 補表

施策	5202 生涯学習機会の充実		
区分	妥当性	妥当	地域の多彩な人材を講師として活用を図り、情報提供を行うことは基本施策の実現につながるため、妥当である。
	コスト削減の余地	無	講師謝金や受講料が主な支出であるが、教育委員会の規定に基づくため、コスト削減は難しい。
	受益者負担	適正	市民大学や各種講座において(材料費等の)受講料などを徴しており、適正である。
	上位貢献度	有効	個々の事務事業の推進による貢献度が高いことから、単位施策貢献度が高いと判断した。
	類似事業の有無	無	
	成果向上の余地	有	講座開催の出来ない環境の下、目標値全てが下回ったため、今後、課題の解決を行い、成果を向上させる余地がある。
内部評価	貢献度	上位施策の目標指標「各種学級・講座受講者満足度」を向上させるためには、学級・講座等受講者数の増加が必要であるため、本単位施策の目標値達成による貢献度は高い。	
	達成状況	<p>新型コロナウイルス感染症防止と一堂に会する講座等の開催が出来ず、受講者数に繋がらなかった。</p> <p>市民大学出席者数は、予定数の約3分の1となったが、その都度、出来る限りの安全確保に努め、学習機会の創出に努めた。</p> <p>人材バンクの活動を行うに当たり、会場使用の利用制限は低いものであったが、申込みが非常に少なく、活動に繋がらなかった。</p> <p>学級・講座受講者数も同様で、講話型での利用制限は低かったが、軽運動、音楽系は利用出来ない時期があり、講座の開催が出来ない事態が続いた。</p> <p>この中、人権指導者養成講座だけは、約7%の減に留まった</p>	
	課題	<p>新型コロナ感染症対策を継続し、安全で安心な講座の開催に努めること。</p> <p>各講座の受講者は高齢者層に偏っており、幅広い年齢層に向けたテーマの拡充や学習の成果を活用出来る機会の充実が必要である。</p> <p>また、多様化する市民ニーズへの講座内容の対応や学びの成果を活かすための機会が必要である</p>	
	取組方針	<p>利用者アンケート等から市民ニーズの把握に努め、講座の見直し等を行うことで幅広い受講者の増加を図る。市民にわかり易い情報提供に工夫して計画的な広報周知を行う。</p> <p>引き続き、他市の先進事例も参照して安全安心な開催手法を実行することで、生涯学習機会の充実、受講者の増加を図る。</p>	